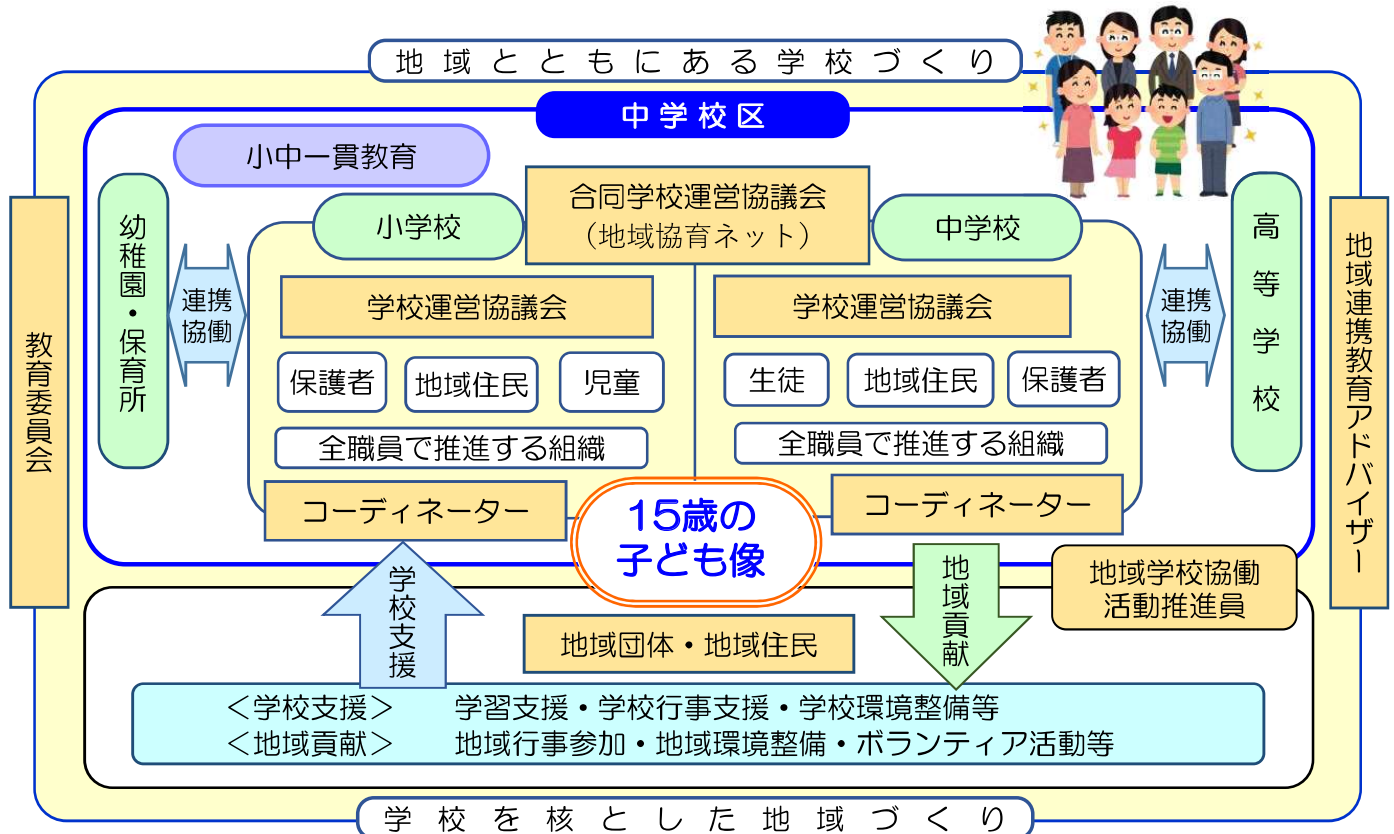


# 光市が進めるコミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置した学校です。学校運営協議会は、保護者や地域住民等の意見を学校運営に反映させるための協議や基本方針の承認などを行い、「特色ある学校づくり」を図る仕組みです。光市では、その取組の一層の充実に向け、各学校のコミュニティ・スクールを核として、各中学校区の地域協育ネットの仕組みを生かした「次世代型コミュニティ・スクール」を推進しています。

## ◆重点取組事項

- 学校や子どもたちを取り巻く課題を共有し、熟議をとおして課題解決に向けた学校支援や協働活動について協議します。子どもたちの熟議への参加も積極的に進めます。
- これからの社会の創り手となる子どもたちに、社会や地域と向き合い、関わり合いながら学ぶ機会を与える「学校・地域連携カリキュラム」の改善サイクルを構築し、「社会に開かれた教育課程」の実現を図ります。
- コミュニティ・スクールが、学校はもちろん地域にとっても意義あるものにしていくために、地域にわかりやすい説明を行うなどの情報発信を工夫します。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により希薄化した人と人とのつながりや地域力の再構築を進めます。



## ◆光市におけるコミュニティ・スクールの充実に向けて

- 主体的・対話的な学校運営協議会の充実

### 《対話・信頼》

学校運営協議会の事前打ち合わせの実施

### 《当事者意識》

教育課程の編成や授業について、委員や子どもと一緒に協議する場づくり

### 《共有・PDCA》

学校運営協議会や熟議で決まったことの見える化

- 各種研修会の実施

光市コミュニティ・スクール研究協議会  
 ・年2回実施  
 ・地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター・教頭・地域連携担当教員等を対象

地域協育ネット研修会  
 ・中学校区で協議会を開催  
 (市教委参加)

地域学校協働活動推進員連絡会  
 ・1～2ヶ月に1回実施

学校における地域連携教育に関する校内研修の実施

## ◆光市の目指すコミュニティ・スクールの方向性

中学校区で「15歳の子ども像」共有し、学校も家庭も地域も、それぞれが子どもと真剣に向き合い、子どもを真剣に考える『共に育てる+共に育つ』の視点のもと、お互いに自らできることについて、知恵を出し合う活動をとおして、学び合う組織と学びでつながるコミュニティ・スクールをめざします。